

広島市歯科医師会だより

一般社団法人広島市歯科医師会

第 109 号

(H28.5.16)

今月のトピックス

広島東洋カープ観戦の集いについて(報告).....	1 ページ
行事報告	
学校歯科医協議会.....	1 ページ
平成 28 年度 第1回四者協議会.....	2 ページ
第 32 回「おくちの健康展」代表者会議(第 1 回).....	2 ページ
第 1 回支部長・副支部長会.....	3 ページ
平成 28 年広島市歯科医師会 広島大学病院歯科臨床研修医セミナー.....	4 ページ
平成 28 年度第 1 回歯周病予防普及啓発事業実行委員会.....	5 ページ
支部だより	
中区支部.....	5 ページ
各部からの報告	
保険・医療対策部.....	5 ページ
地域歯科保健部.....	6 ページ
広報部.....	6 ページ
FM ちゅーピー.....	13 ページ
職員挨拶.....	14 ページ
4 月定例理事会報告.....	14 ページ

広島東洋カープ観戦の集いについて

応募多数のため抽選となりました

上記レクリエーションにつきましてはご好評を頂き、定員の 50 名を大きく上回る 130 名超のご応募を頂きました。従いまして今回は大変心苦しいのですが抽選により参加者を決定させていただくことといたしましたことをご理解ください。

今年度はもう 1 度カープ観戦の集いを開催する予定でございますので、その際にはまた奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。

※抽選結果については個別に通知いたします。事務局へのお問い合わせはご遠慮ください。

行事報告

学校歯科医協議会

日時：4 月 14 日(木)午後 7 時 30 分

場所：県歯会館 6 階「ハーモニーホール」

標記協議会が谷巖範地域歯科保健部副委員長の司会のもとに開催された。

川原正照会長の挨拶に続いて、学校歯科医を退任する前田英治氏(大手町商業高校在任 29 年)、藤井秀世氏(己斐上中学校在任 29 年、

ご欠席)、佐々木元氏(井口中学校在任 11 年)に感謝状と記念品が贈呈された。次いで、新たに学校歯科医に就任する細原賢一氏(大手町商業高校)、森川英彦氏(己斐上中学校)、豊田育星氏(井口中学校)が紹介された。

次に、有馬隆地域歯科保健部理事が「学校歯科検診の変更点について」と題して講演を行った。講演では、CO 要相談の導入や下顎前突の判定基準の変更、感染防止対策としてのダブルミラーの採用など学校検診において今年度から変更された事項について説明した。

続いて、安井良一子鹿医療療育センター歯科医長が「食べ方に問題がある子どもの指導

の方向性」と題して講演を行った。講演では、園児に対する 2 年間にわたる咀嚼嚥下機能に関する調査結果をもとに、幼児期の咀嚼機能の問題とその対応について説明され、幼児期の食環境の重要性を強調された。

最後に、熊谷宏副会長の閉会の辞により協議会を終了した。



講演をする有馬隆地域歯科保健部理事（左）と安井良一子鹿医療療育センター歯科医長（右）

平成 28 年度 第 1 回四者協議会

日時：4月15日(金)午後7時30分

場所：県歯会館2階「市歯会会議室」

本年8月4日に開催される「第58回広島市学校保健大会」へ向けて標記会議が開かれた。広島市学校保健大会の分科会の「よい歯の集い」で行われる「よい歯の学校表彰」と「よい歯の児童表彰」の表彰規定について協議・決定が行われた。会議は川原正照会長と長谷富美健康教育課長の挨拶で開会し、議事に続いて今春の学校検診の変更点などに関する情報提供が市歯会側からなされた後、熊谷宏副会長の閉会の辞により終了した。司会進行は山本智之専務理事が務めた。7月に第2回会議を開催し、本年の被表彰児童・学校を決定する予定である。本会議の出席者は以下のとおり。

小学校校長会	校長会会長	尾形慎治
小学校教育研究会	健康教育部会部会長	岡本弘文
広島市教育委員会	健康教育課長	長谷富美
	健康教育課長補佐	齊藤啓一
	健康教育課指導主事	山根由加理
	健康教育課指導主事	渡邊綱治
広島市歯科医師会	会長	川原正照
	副会長	熊谷 宏
	専務理事	山本智之
	理事	有馬 隆

第 32 回「おくちの健康展」代表者会議（第 1 回）

日時：4月18日(月)午後7時30分

場所：県歯会館2階「市歯会会議室」

標記の会議が主催である広島市歯科医師会、広島県歯科衛生士会、広島市歯科技工士会、広島県栄養士会と、共催の広島矯正歯科医会、協賛のそごう広島店、株式会社モリタ、グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社、バイオガイア

ジャパン株式会社、四国乳業株式会社、シャボン玉石けん株式会社の出席のもとで開催された。開会后、川原正照市歯会会長から挨拶があり、出席者紹介があり、能美和基実行委員長の議事進行で協議に移った。協議では第32回「おくちの健康展」の企画について、株

式会社広テレイベントより説明があり、各代表の報告、提案に続きチラシ・ポスターについて協議され、宮城昌治広島市健康福祉局保健部保健医療課保健指導担当課長の閉会の辞で閉会した。

「おくちの健康展」は毎年数千人の市民の方々と直接ふれあえ、公衆衛生普及啓発活動が行える大変貴重な機会であり、今年は6月5日(日)の午前10時から午後4時まで、そごう広島店本館「屋上ステージ」にて開催されま

すので、是非会員の皆様のご来場をお待ちしております。



会議の様子

第1回支部長・副支部長会

日時：4月20日(水)午後7時30分

場所：県歯会館2階「市歯会会議室」

標記の会が開催され、執行部からは川原正照会長以下三役が出席した。

始めに川原会長より、4月ということ、任期と違い今回が新年度の第1回目の支部長会となりますが、本日も多くの報告事項・協議事項がございますので活発に協議いただくよう依頼の挨拶があった。報告、協議事項は以下のとおりである。

執行部

- ・3歳児健診の休日実施について
- ・代議員の打ち合わせ会について

中区支部

- 2月23日 広島市歯科医師会選出代議員
打合わせ会議(波田、三次)
- 2月26日 国泰寺圏域多職種連携会議
(波田、荒谷、香川、有田、
若林、津田、平田、辰本)
- 2月27日 広島県国保組合
第150回組合会(波田)
- ” 第52回互助会総代会(波田)
- 3月5日 (県)第137回臨時代議員会
(波田、三次、小田、石田、
平野、松井、森田)
- 3月12日 江波圏域多職種連携会議
(波田、小松、石嶋、鎌田、
橋本(隆)、前田(羊))
- 3月14日 吉島地区多職種連携会議
第1回小委員会(波田、小松)
- 3月16日 中区支部会計監査(波田、三次、
石嶋、有田、平田)
- 3月26日 第66回連盟評議員会、
石井みどり広島県後援会及び
林正夫後援会並びにゆざき英彦
後援会総会(波田、三次、小松)
- 3月27日 平成28年度診療報酬改定説明会
- 4月20日 第1回支部長・副支部長会議
- 4月22日 中区支部総会

東区支部

- 2月18日 第31回東区子育て交流広場
運営協議会(宮地)
- 2月22日 広島市東区地域保健対策協議会
企画会議(山本、能美)
- 2月27日 広島県国保組合
第150回組合会(山本、宮地)
- ” 第52回互助会総代会
(山本、宮地)
- 3月14日 広島市東区地域保健対策協議会
常任理事会(山本、能美)
- 3月26日 第66回連盟評議員会、
石井みどり広島県後援会及び
林正夫後援会並びにゆざき英彦
後援会総会(山本、宮地)
- 3月27日 平成28年度診療報酬改定説明会
- 3月28日 東区介護保険研修会
(山本、宮地、白神)
- 4月20日 第1回支部長・副支部長会議
(山本、宮地)

南区支部

- 2月23日 広島市歯科医師会選出代議員
打合わせ会議
- 2月26日 南区在宅医療・介護連携推進
連絡会(仁保・楠那圏域)
(有馬(隆)、中川、小笠原、藤林)
- 2月27日 広島県国保組合
第150回組合会
- ” 第52回互助会総代会
- 3月16日 南区認知症医療・介護講演会

- 3月26日 第66回連盟評議員会、
石井みどり広島県後援会及び
林正夫後援会並びにゆざき英彦
後援会総会（中本・上田・大出）
- 3月27日 平成28年度診療報酬改定説明会
- 4月6日 南区支部花見会

西区支部

- 2月22日 西区地域保健対策協議会
介護連携会議グループワーク
（田中、窪内、三分一、豊田（育）、
濱岡、森川、藤田（友））
- 2月23日 広島市歯科医師会選出代議員
打ち合わせ会議（田中、代議員）
- 2月25日 西区支部2月例会（木松旅館）
「GCファイバーポスト&
レジンコア研修会」
講師 GC大阪 小出敏樹氏
- 2月27日 広島県国保組合
第150回組合会
- ” 第52回互助会総代会
- 3月5日 第137回臨時代議員会
（田中、松原、平尾、天間）
- 3月9日 西区地域保健対策協議会
第4回常任理事会・理事会合同会
（地域福祉センター）事業報告、

- 3月22日 予算と事業計画など（田中、窪内）
第22回かかりつけ医推進委員会
（地域福祉センター）
H27年度事業報告、
今後の取り組みなど（田中、窪内）
- 3月26日 第66回連盟評議員会
石井みどり広島県後援会及び
林正夫後援会並びにゆざき英彦
後援会総会
（田中、窪内他西区支部役員）
- 3月27日 平成28年度診療報酬改定説明会
- 3月30日 第4回在宅歯科医療推進講習・
研修会

協 議

①中区

- ・ 多職種連携会議活性化について
- ・ ソフトボール運営協議会発足について
- ・ ソフトボール次年度バス予約について
- ・ 学校歯科医協議会における不適切発言について
- ・ その他

②南区

- ・ 広島県歯科医師会の準会員による本会での対応について

平成28年広島市歯科医師会 広島大学病院歯科臨床研修医セミナー

日時：4月21日（木）午後7時

場所：県歯会館6階「ハーモニーホール」

今年で10年目になる臨床研修医セミナーが開催された。このセミナーは全国の歯科医師会に先駆けて広島大学歯学部と協力して行われている。当日は今年歯科医師国家試験を合格したばかりの研修医36名が参加した。本年度は国家試験の合格率が悪く、例年より少ない人数であった。中島克総務部委員長の司会のもと、香西克之広島大学歯学部統合健康科学部門小児歯科教授の挨拶があり、続いて「歯科医師会について」と題して川原正照市歯会会長「これからの歯科医療と医院経営について」と題して本山智得総務部理事、最後に「地域連携について」と題して小松大造地域歯科保健部理事の講演があった。引き続き行われたワークショップで「この一年、歯科医師としてどのように過ごすか」と題して活発な意

見交換が行われた。歯科医師としての公衆衛生活動の大切さと現在の歯科医院経営の厳しさなど研修医は大変熱心に聴講していた。セミナー終了後、三役・総務部委員と研修医を交えて懇親会が開催され、たいへん盛会で終了した。



セミナーの様子

平成 28 年度第 1 回歯周病予防普及啓発事業実行委員会

日時：4月28日(木)午後7時

場所：県歯会館2階「市歯会会議室」

標記の委員会が広島市及び市域の4地区歯科医師会（市歯会・安佐歯会・佐伯歯会・安芸歯会）からなる「8020運動・歯周病予防推進協議会」を実施主体として開催された。まず開会后委員紹介があり、能美和基委員長の議事進行で宮城昌治広島市健康福祉局保健部保健医療課保健指導担当課長より、平成28年度歯周病予防普及啓発事業計画について報告がなされ、続いて協議に移った。協議では今年度の「ビューティフル歯ッション賞」について、昨年認定者が918人と少なかったことから今年度は2,000人の認定者を目標とし、チラシやポスターなどの協議が行われた。最後に栗原英見広島大学応用生命科学部門歯周病態学研究室教授の挨拶で閉会した。ビュー

ティフル歯ッション賞は昨年から、新しく認定者に認定基準に応じた認定カードを交付し、認定者に喜ばれている全国で広島市だけが行っている事業である。広島市域の先生方におかれましては、是非推薦歯科医院に登録してご協力をお願いいたします。



委員会の様子

支部だより

中区支部

平成28年度中区支部総会

日時：4月22日(金)午後7時30分

場所：県歯会館4階「役員会議室」

花木清隆中区支部理事司会進行の下、平成28年3月31日までにご逝去された本支部会員（大町洋二先生、本山栄荘先生、玉田誠二郎先生）ならびにご家族に対して黙禱が行われた。そして、波田佳範中区支部長より平成27年度事業報告、ならびに平田誠会計理事より平成27年度の会計収支報告が行われた。

引き続き、波田支部長より平成28年度事業計画（案）と平田氏より平成28年度会計収支予算（案）が上程され満場一致で可決承認された。

最後に三次みさと中区副支部長の閉会の辞により終了した。総会后、懇親会が開催され、会員相互の交流が図られた。



総会の様子

各部からの報告

保険・医療対策部

受け取る保険金が未確定のときの医療費控除

自己又は自己と生計を一にする配偶者やその他の親族のために医療費を支払った場合には、一定の金額の所得控除を受けることができます。この医療費控除の対象となる医療費に

関して保険金などで補填を受けた場合には、保険金などで補填された金額を差し引かなければなりません。保険金などとは、生命保険契約で支給される入院費給付金や健康保険などで支給される高額医療費、家族療養費、出産育児一時金などのことをいいます。

年末付近で支払った医療費などでそれを補填するための保険金の額が、確定申告するまでに確定していないような場合には、受け取る保険金等の額を見積もって、その見積額を支払った医療費から控除して確定申告をします。そして、後日、その保険金等の確定額が、見積額と異なることとなったときは、遡ってその年分の医療費控除額を訂正しなければなりません。

地域歯科保健部

広島市の乳幼児等医療費補助制度が変わります

乳幼児等医療費補助制度とは、一定年齢までの乳幼児等の医療費を補助するもので、広島市では昭和48年度より一定の所得制限のもとに、未就学児と小学1・2年生の発達障害児を対象に実施しています。

現在、扶養人数2人の場合は、給与所得ベースで616万円以内の家庭において、通院については初診料算定時のみ500円に限定しております。

本制度における年齢拡充ならびに給与所得ベースの見直しは、2月の定例市議会で可決され「乳幼児等医療費補助条例」から「こども医療費補助条例」に平成29年1月より変更されます。

【対象年齢拡大】

現行	変更後
<ul style="list-style-type: none"> ・ 未就学児 ・ 小学1年生および2年生の発達障害児 	小学3年生まで（対象年齢の拡充）

【一部負担金】

現行	変更後
<ul style="list-style-type: none"> ・ 初診料算定時に500円 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保護者の前年の所得金額が給与ベースで379万2千円未満（扶養人数2人の場合） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行通り 2. 保護者の前年の所得金額が給与所得ベースで379万2千円以上（扶養人数2人の場合） <ol style="list-style-type: none"> (1) 未就学児 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1医療機関等につき1日1,000円を限度（月2日まで） (2) 小学1～3年生 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1医療機関等につき1日1,500円を限度（月2日まで） (3) 第三子以降の子ども <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行どおり

広 報 部

今月の知っておきたいこと

リンク切れはご容赦を。
 記事の確認は自己責任にてリンク先でお願いします。
 最新記事はホームページにてご覧ください。

▼熊本 西原村 歯科医師が避難所を巡回診察

NHK NEWS WEB 2016年4月24日 14時17分

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20160424/k10010496401000.html>

一連の地震を受けて熊本県西原村では、歯科医師が避難所を巡回して避難生活を続けている人たちの歯の診察をしています。

熊本県歯科医師会は、23日から益城町や西原村など県内各地の避難所を巡回して、避難生活を続けている人たちの歯の診察をしています。このうち、470人余りが避難している西原村の西原中学校では、体育館の一角にスペースが設けられ、歯科医師3人が次々と訪れた高齢の避難者たちを診察しました。歯科医師は「歯磨きはしっかりできていますか」と声をかけながら状態を確かめたり、口の中が乾燥していると訴える人に薬の使い方を教えたりしていました。

診察を受けた81歳の女性は「口の中が乾燥して調子が悪かったので、だ液が出るようになるマッサージの方法を教えてください本当によかったです」と話していました。県歯科医師会の松本信久理事は「避難生活が長引くと口の中のケアはもっと重要になる。甘いものをたくさん食べている子どもも多いので、虫歯を防ぐ方法を伝えるなどしっかり活動したい」と話しています。

▼＜熊本地震＞歯科診療状況一目 被災地支援マップ公開

静岡新聞 2016年4月23日

<http://www.at-s.com/news/article/social/shizuoka/bosai/233628.html>

静岡県歯科医師会（柳川忠広会長）は、災害時に会員の安否や診療状況などの情報を集約・閲覧できる独自のシステムを使って、熊本県歯科医師会の会員診療所の熊本地震以降の診療状況を取りまとめた。熊本県歯科医師会がホームページで「災害時マップ」として公開している。

静岡県歯科医師会は災害時に歯科医院の診療状況の情報提供が必要と考え、システムを構築。会員が専用サイトにアクセスし、自らの健康状態や診療状況などを入力する。患者らは静岡県歯科医師会のホームページにアクセスし、地図上に記された診療所の印をクリックすると、情報が得られる。

静岡県歯科医師会では、このシステムをこれまでに埼玉県や福島県、名古屋市など6歯科医師会に提供。熊本県歯科医師会には設置されていなかった。発災直後に柳川会長と熊本県歯科医師会の幹部が話し合い、協力することが決まった。

静岡県歯科医師会の職員が熊本県歯科医師会の会員診療所の位置を地図に落とし込み、熊本県歯科医師会から送られてきた情報を基にマップを完成させた。現在公開されている情報は熊本県歯科医師会の全会員の3割ほどだが、依頼があれば、静岡県歯科医師会が随時更新していくという。

柳川会長は「被災地は目の前のことに手いっぱいになる。こうして遠隔地から被災地を支援できると分かった」と話した。

▼日歯、対策本部を設置し情報一元化に努める

日歯メールマガジン [号外] [No. 442 16/04/20]

■日歯、対策本部を設置し情報一元化に努める

熊本県熊本地方を震源とする地震が4月14日午後9時26分頃に発生したことを受けて、日歯は翌15日、平成28年熊本地震対策本部（本部長：堀憲郎会長）を設置し、熊本県歯と連携の下、行政や日医などの関係団体とも緊密な連携を図りながら支援策等の協議を重ねている。16日午前1時25分頃には平成28年熊本地震の本震が発生し、被害はさらに拡大している。熊本県歯によると18日20時現在、会員の被災状況は軽度の負傷1名の人的被害があった他、診療所の全壊1件、断水や停電3件、医療機器等の収容物のみ損壊22件、外壁ひび割れ28件、自宅の半壊が2件あることが報告されている。

◇日歯のこれまでの対応（4/14～4/19）

≪4月14日（木）≫

- ・地震発生直後に浦田健二熊本県歯会長に被害状況を確認。
- ・厚労省医政局歯科保健課との連携を開始。

≪4月15日（金）≫

- ・災害対策本部（本部長：堀憲郎会長）を午前8時30分に設置。
- ・災害対策本部の第1回会議を開催し、被害状況や安否確認の情報収集などの対応を協議。
- ・災害対策本部の第2回会議を午後1時10分から、第3回会議を午後4時40分からそれぞれ開催し、会員、歯科医師会の被災状況の早急な把握に努めるとともに、支援策等について協議。
- ・都道府県歯に文書「平成28年熊本地震災害対策本部の設置等について」を発出し、平成28年熊本地震対策本部の設置とともに、情報通信班、被災会員対策班及び歯科診療対策班を設置し、被災情報の収集や関係機関等との連絡調整等を図っていることなどを周知。

・都道府県歯に文書「平成28年熊本地震に係る被災地への歯科医師等の歯科医療従事者の派遣について」を发出し、熊本県から厚労省に被災地への歯科医師等の歯科医療従事者の派遣要請があった場合の協力を依頼。
・熊本県歯を始めとする九州7県歯に文書「平成28年熊本地震」による災害へのお見舞いについて」を发出し、被災した県民への歯科医療・歯科口腔保健等に係る対応や、会員の被害等への対応に関して報告するよう依頼。

・日歯メールマガジン【号外】を発行し、対策本部の設置など日歯の対応状況の他、15日午前10時の時点の被害状況などを周知。

《4月16日（土）》

・災害対策本部の第4回会議を午前10時30分から開催し、義援金口座開設を決定した他、今後の現地対応を始め都道府県歯、行政、関係団体、メディアなどへの対応を協議。

・災害対策本部の第5回会議を午後4時5分から開催し、会員の被害状況や避難所の状況を確認した他、今後の対策本部の運営等について協議。

・都道府県歯に文書「平成28年熊本地震に係る本会の対応と現状報告について」を发出し、15日午後7時30分より熊本県歯と日歯対策本部でネット会議を開催するなどの連携状況の報告とともに、九州、中国・四国地区の歯科医師会に被害状況の情報提供を依頼。

・都道府県歯に文書「平成28年熊本地震への義援金募金のお願い」を发出し、義援金口座開設を周知。

《4月18日（月）》

・災害対策本部の第6回会議を午後0時30分から開催し、18日午前11時の時点の熊本県歯との定時連絡の内容などを確認。

・第22回被災者健康支援連絡協議会が午後4時から日医会館で開催され、村岡宜明専務理事、小玉剛常務理事が出席。

《4月19日（火）》

・災害対策本部の第7回会議を午後2時から開催し、支援物資対応や被災地への歯科医師等の歯科医療従事者の派遣等について協議。

・都道府県歯に文書「被災地への歯科医師等の歯科医療従事者の派遣について」を发出し、当面は被災地近隣県に協力要請をしたことを報告した上で、今後の現地派遣に備えて、全国の都道府県歯に派遣対応可能者の名簿提出を要請。

・都道府県歯に文書「平成28年熊本地震（支援物資の現状把握）についてご協力のお願い」を发出し、熊本県歯の要請を受けて、日歯として被災地に支援物資を送付することを報告するとともに、今後の継続支援に備え、全国都道府県歯に支援可能物資のリスト提出を要請。

■九地連に歯科医師等の派遣を要請

日歯は4月19日、厚労省医政局歯科保健課からの要請を受けて、被災地への歯科医師等の歯科医療従事者の派遣について協力を決定した。その後、熊本県歯から正式に派遣依頼の連絡があり、日歯は早急に九州地区連合歯科医師会に対して依頼文書「被災地への歯科医師等の歯科医療従事者の派遣について」を发出し、協力を仰いだ。

対策本部では、被災地の混乱を回避するため、当面は被災地近隣県に協力を依頼することとし、今後、状況に応じて全国の都道府県歯にも協力を要請することとした。派遣に備え、全国の都道府県歯にも派遣対応可能者の名簿の提出を求めた。

■JMATに歯科医師、歯科衛生士が帯同へ

日歯は4月18日に開催された被災者健康支援連絡協議会の中で、日本医師会災害医療チーム（JMAT）への歯科医師等の帯同を要望した。

熊本地震の被災現地で医療支援活動を開始しているJMATの鹿児島県のチームに、歯科医師及び歯科衛生士が帯同することが決定した。

■熊本県歯・市歯の対応状況

日歯は熊本地震の発災直後より、熊本県歯と連携の下、行政や日医などの関係団体とも緊密な連携を図りながら支援策等の協議を重ねている。

熊本県歯では、県下全域（熊本市を除く）の避難所に対して、“災害時のオーラルケア”などの啓発に関するポスターの掲示を依頼するとともに、行政からの依頼を受けて、歯ブラシや歯磨剤などのオーラルケア用品を提供している。また、熊本市内の避難所への対応は、熊本市歯が担当。オーラルケア用品を配布している他、診療が可能な歯科医療機関の情報を公開している。

■平成28年熊本地震対策本部の構成員

日歯が4月15日に設置した平成28年熊本地震災害対策本部の構成員は次の通り。

【平成28年熊本地震災害対策本部構成員】

・本部長：堀憲郎

・副本部長：柳川忠廣、佐藤保、牧野利彦

・本部員：村岡宜明、青柳裕易、遠藤秀樹、杉山茂夫、高野直久、今里憲弘、小林慶太、小玉剛、小山茂幸、瀬古口精良 ※この他、本部長が必要と認める時に指名した者

ニュースピックアップ

▼第 109 回歯科医師国家試験、合格率 63.6%、合格者数で初めて 2000 人の大台割れ

3月18日、第109回歯科医師国家試験の合否結果が厚生労働省および地方厚生局にて発表された。総出願数は3,706人、総受験者数は3,103人、総合格者数は1,969人で、新卒・既卒合計の全体合格率は63.6%（前回63.8%）と前回より僅かに低下、合格者総数は初めて2000人の大台を割り込んだ。新卒のみでの合格率は72.9%（前回73.0%）だった。

大学別では、東京歯科大学（93.3%）と東京医科歯科大学（91.0%）の2校が全体合格率（新卒・既卒合計）で9割を超え、新卒のみの合格率では徳島大学が96.8%で最高となった。一方、私立大学7校で全体合格率が5割を切るという厳しい結果となった。

医療経済出版 2016年3月18日

<http://www.ikeipress.jp/archives/8938>

Point of View

◎第109回歯科医師国家試験の合格率が発表されました。合格率は前回から僅かに下がったとのことですが、人数では、初めて2,000人の大台を割ってしまったことが大きな話題となっています。また、50%以下の合格率であった私大が、去年の3校から、7校に増えており、厳しい結果となりました。広島大学においても、昨年より約6%下げてしまい、こちらも厳しい結果となりました。新しく歯科医師となる人には、初心を忘れず頑張ってください。

▼抗菌薬、使用量を3分の2に削減…初の耐性菌対策案

抗菌薬（抗生物質）が効かない薬剤耐性菌に対し、政府が初めて策定する行動計画案がわかった。抗菌薬は、大量に使うことで耐性菌を増やすことにつながるため、使用量を2020年までに3分の2に減らす数値目標を盛り込んだのが特徴だ。耐性菌にも効果がある新薬の開発も政府として後押しする。

政府は、4月に関係閣僚会議を開いて行動計画を決定する。

大腸菌や黄色ブドウ球菌といった一般的には危険性が少ない細菌でも薬剤耐性を持つと、感染した人は死に至ることがある。厚生労働省によると、耐性菌による13年の死者は全世界で70万人だが、50年にはがんを上回る1000万人に達するとの試算もある。

行動計画が掲げた数値目標は、国内での抗菌薬の使用量を3分の2に抑制するほか、肺炎球菌や大腸菌、黄色ブドウ球菌などの耐性菌の割合を、大幅に引き下げることも盛り込んだ。

yomiDr (2016年4月1日)

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20160401-0YTET50015/?catname=news-kaietsu_news



Point of View

◎確かに抗生物質の使用には耐性菌の発生というリスクがあります。仮に使用量を減らして耐性菌の発生を抑えられても、十分な薬効が得られなくなるようでは困ります。

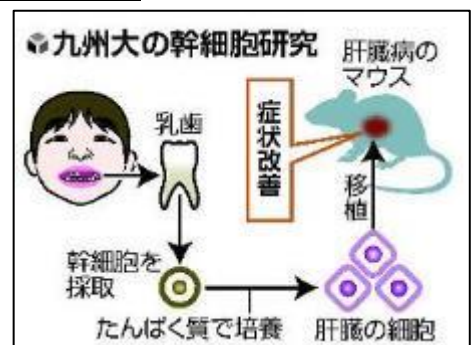
▼抜けた乳歯から肝臓細胞、マウスの病状改善

子どもの乳歯から、様々な細胞に変化できる幹細胞を取り出して肝臓の細胞に変化させ、肝臓病のマウスに移植して症状を改善させることに成功したと、九州大の田口智章教授（小児外科）らが、大阪市で開かれている日本再生医療学会総会で発表した。

廃棄される歯を有効活用した再生医療として注目される。

田口教授らは、九州大病院の歯科を受診した健康な子どもから、抜けた乳歯を譲り受け、内部の歯髄という部分にある幹細胞を採取。変化を促すたんぱく質を加えて培養すると、肝臓の細胞とよく似た細胞が大量にできた。肝硬変のマウスの肝臓に移植すると、症状が改善したという。

幹細胞は体内の脂肪や骨髄などからも採取できるが、乳歯の幹細胞



胞は、廃棄される歯が原料なので入手しやすい。田口教授は「将来は、生まれつき肝機能が悪い難病の治療に役立つ可能性がある」と話す。

yomiDr (2016年3月22日)

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20160322-OYTET50033/?catname=news-kaietsu_news

Point of View

◎臍帯血を医療に利用する方法があります。これからも乳歯の分化能を応用した様々な再生医療が開発されていくのではないのでしょうか。期待が持てます。

▼受診遅れで63人死亡、15年 無保険、窓口負担分払えず

経済的な理由で国民健康保険の保険料が払えずに「無保険」状態になったり、保険証を持っていても医療費の窓口負担分が払えなかったりしたために受診が遅れ、死亡した人が2015年に32都道府県で63人に上ったことが22日、全日本民主医療機関連合会（民医連）の調査で分かった。無職や非正規労働者が多く、家族全員が無保険という世帯もあった。

調査は民医連に加盟する病院と診療所計646施設が対象。担当者は「全体からみれば氷山の一角。働き盛りの世代も増えており、行政による早急な対策が必要だ」としている。

47NEWS 2016年3月22日

<http://this.kiji.is/84924760826742262?c=39546741839462401>

Point of View

◎日本の医療制度は国民皆保険制度で、国民が等しく医療を受けられる素晴らしい制度ですが、保険料や、窓口負担の増大によって、医療サービスが受けられないという事態が増えてきているようです。この流れがひどくなってくると、患者側にとっても不利益となるばかりか、医療側も医療を提供できず、医療崩壊を招く恐れが高まります。

▼子どもの医療費、国保の国庫負担減「早急に見直しを」…厚生労働省検討会

厚生労働省の「子どもの医療制度の在り方等に関する検討会」は22日、子どもの医療費を助成している地方自治体に、国が国民健康保険の国庫負担を減額する措置について、見直すよう求める報告書を了承した。

報告書には「早急に見直すべきとの意見が大勢を占めた」と明記された。政府はこれを受け、5月に策定する「ニッポン1億総活躍プラン」に見直し案を盛り込む方向で調整する。減額措置を廃止した場合、国費で年間約90億円の財源が必要となる。医療費の増大を懸念する財務省は、見直しに慎重だ。

yomiDr. (2016年3月23日)

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20160323-OYTET50044/?catname=news-kaietsu_news

Point of View

◎未来の日本を支える子供たちに必要な医療費はどの社会保障よりも優先すべき事項ではないのでしょうか。それが必要な費用で誰かが負担しなければならないのであれば、削減はできるだけ回避するために、いまだに改善されていない多くの無駄の削減をする必要がありそうです。

▼低用量アスピリンの服用で一部のがんリスクが低減 (2016.3.14掲載)

低用量アスピリンを毎日服用することにより、大腸がん、消化管がんをはじめとして、がん全体のリスクが3%低減する可能性があることが報告された。ただし、便益が認められるのは6年以上服用した場合に限られるという。アスピリンはがんを引き起こす特定の生物学的経路に作用するほか、炎症や発がん性蛋白質の量を軽減すると、米マサチューセッツ総合病院（ボストン）のAndrew Chan氏は説明している。

「JAMA Oncology」オンライン版に3月3日掲載された今回の研究は、アスピリンの服用とがんリスク低減の関連を示すにとどまり、因果関係を裏づけるものではないが、他の研究でも同様の結果が得られているという。付随論説の著者の1人である米テキサス大学 MD アンダーソンがんセンターのErnest Hawk氏は、「本研究は、心筋梗塞リスクの低減や関節炎治療、疼痛緩和など、他の理由でアスピリンを服用する人において、消化管がん、大腸がんが低減することを示唆する新たな知見である」と述べている。今回の研究では、看護師健康調査（NHS）および医療従事者追跡調査（HPFS）に参加した13万人超の男女を対象として、アスピリンとがんの関連を検討した。30年以上の追跡期間で、女性8万8,000人強のうち2



万人強、男性 4 万 8,000 人弱のうち 7,500 人強ががんを発症した。低用量アスピリンを週 2 回以上服用した場合、アスピリンを定期的に服用していなかった場合に比べてがん全体のリスクが 3% 低く、消化管がんで 15%、大腸がんで 19% のリスク低減がみられた。しかし、乳がん、前立腺がん、肺がんなどの主要ながんのリスク低減は認められなかった。

また、アスピリンを定期的に服用することにより、大腸内視鏡によるスクリーニングを受けていない場合は 17%、受けている場合は 8.5% の大腸がんを予防できる可能性があるという。米国がん協会 (ACS) の Eric Jacobs 氏によると、同協会は現在のところアスピリンの使用について、賛成も反対も表明していないという。心筋梗塞や脳卒中の既往のある人は、一般的にアスピリンを処方されるが、そうでない人は、胃出血などのリスクと疾患予防の便益とのバランスを検討する必要があると同氏は述べている。

アスピリンを服用すべきか迷っている人は、まず医師に相談するよう Jacobs 氏は勧めている。また、アスピリンを服用していても大腸がんスクリーニングを受けなくてよいわけではないと同氏は述べ、「50 歳以上の人はもれなく大腸がん検査について医師に相談すべきだ。ポリープが見つければがんになる前に切除できる」と説明している。

ヘルスデージャパン 2016 年 3 月 14 日

http://www.healthdayjapan.com/index.php?option=com_content&view=article&id=6694:20160314&catid=20&Itemid=98

Point of View

◎低用量アスピリンを毎日服用することにより、がん全体のリスクが 3% 低減する可能性があることが報告されたとの内容ですが、アスピリン服用により、便益が認められるのは 6 年以上服用した場合とのことです。アスピリンの常時服用は、胃腸へのリスクもあるため、この 3% のために、6 年以上服用し続けるというのは、やや非現実的かもしれませんが、更なる研究で、より効果的な服用方法が確認できれば、がん予防のひとつの選択肢に十分になるかと思えます。

▼危険性知っても生活習慣変わらず 病気の遺伝子検査

【ワシントン共同】遺伝子検査によって、特定の病気になりやすい危険性があることが分かっても、検査を受けた人の生活習慣の改善にはほとんどつながらないとする研究結果を、英ケンブリッジ大などのチームが 15 日付の英医師会誌に発表した。

遺伝子検査は 10 年ほど前から、個人向けのサービスを提供するビジネスが世界で拡大。「健康維持や病気予防の意識を高めるのに役立つ」とされているが、十分な効果が得られていない実態が明らかになった。

チームは「単に検査結果を知らせるだけではなく、どのように行動を変えたらよいかアドバイスするべきかもしれない」としている。

47NEWS 2016 年 3 月 16 日

<http://this.kiji.is/82618141151264774?c=39546741839462401>

Point of View

◎検査によって病気になりやすい危険性があると分かっているにもかかわらず、それに対して具体的に改善しようと行動に移す人はかなり少ないということです。歯科においても、歯周病やカリエスリスクが高い人も、予防的行動に移すことがとても重要です。定期的な検診をすすめるよう官民一体となって啓蒙活動することが重要です。

▼2040年に医師3万4千人過剰…厚労省推計

医学部定員見直しへ

厚生労働省は 31 日、2040 年に医師が全国で 3 万 4 000 人過剰になるという推計結果を公表した。政府は現在増員を認めている医学部の定員について、削減を含めた検討に入る。

2000 年代に医師不足が社会問題となり、政府は 08 年度から段階的に医学部の定員増を認めてきた。07 年度は 7 625 人だった定員が 16 年度は 9 262 人に増える。今後、さらに医学部が新設される予定だが、医師が過剰になるとの懸念もあり、厚労省は医師の需給の見通しを分析した。

高齢化の進展に伴う将来の患者数や入院ベッドの数などから必要な医師数を推計。医師供給数は、医学部定員が 16 年度のまま続くと仮定した上で、育児中の女性医師や高齢医師の労働力減少も加味して計算した。

yomiDr (2016 年 4 月 1 日)

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20160401-0YTET50005/?catname=news-kaijitsu_news

Point of View

◎今、歯学生にとっては「受難の時期」となっています。事態がこうなることはある程度予測はついていたのではないかと思います。どうも対策が後手後手に回ってしまう感じが否めません。今盛んに医学生が増員されている現状を見ると、近い将来歯学生と同じ道をたどってしまうのではないかと危惧されて仕方ありません。

▼人工知能（AI）で総合診療 自治医大がシステム開発 症状から病名絞り治療方針も決定

自治医大（栃木県）は28日、医師が患者の症状などから病名を絞り込んだり治療方針を決定したりする際の総合診療を支援する人工知能（AI）システムを開発したと発表した。平成28年度に同大病院などで試験運用を始める予定。高齢化社会を迎え、地域医療では患者の生活習慣や育った環境など多くの要因が絡んでくるといい、AIの支援によって全国どこでも標準的な医療を受けられるようになるという。

AIには協力が得られた群馬県と熊本県の病院で収集された過去6年間分の診療情報8千万件や医学論文を登録、日々の診療情報も追加される。患者の症状を入力すると、これらを基に予想される病名や有効な投薬のリストを表示する。個人の診療や投薬、介護などの生活情報を位置データと組み合わせて一元管理するシステムも構築した。将来的には地域で利用することで薬の重複防止や緊急時の位置特定、活動量の把握などに役立てることが期待される。

産経ニュース

2016年3月29日

<http://www.sankei.com/life/news/160219/lif1602190003-n1.html>

Point of View

◎過去にも、AIやロボットについての記事を取り上げてきましたが、「勉強、恋愛、テロ監視まで…人工知能（AI）が大活躍 研究者の争奪戦も…」

<http://www.sankei.com/premium/news/160108/prm1601080001-n1.html>

医療関係についても、AIの進出が認められはじめました。超高齢化社会を背景に、分野によっては、ロボットに頼らざるを得なくなる可能性は高いです。今後、どのような社会になっていくのでしょうか。

▼名古屋大救急医の半数9人退職へ 病院が経緯調査

名古屋大病院（名古屋市）の救急医21人のうち9人が3月末で一斉退職することが30日、病院への取材で分かった。職場環境への不満を理由に挙げる医師もあり、病院側は外部有識者を加えた調査委員会を4月中旬に設置、経緯を調べるとともに対応策を検討する。

病院の担当者は「退職者は多いが、名古屋市と近郊には他にも救急患者を受け入れる大きな救急病院が複数あり、影響は少ないはずだ」としている。

病院側の説明によると、退職するのは20代後半から30代前半の若手を中心に、同市内のほか関東や九州の病院に移る。

47NEWS 2016年3月30日

<http://this.kiji.is/87828414616438262?c=39546741839462401>

Point of View

◎名古屋大学病院の若手医師の救急医が一斉退職するようです。職場への不満が理由かもしれないとのことです。勤務する側も大変だと思いますが、雇用する側もマネジメントが大変なようです。歯科医院の院長先生も、スタッフのマネジメントはとても大変だと思います。そのため、歯科医師としての仕事よりも経営の方にストレスが多くかかってくるとつらいものがあります。

▼糖尿病人口、34年で4倍に増加 WHO、肥満背景に4億2千万人

【ジュネーブ共同】世界保健機関（WHO）は6日、2014年の世界の糖尿病人口（18歳以上）が推定4億2200万人に達し、1980年の同1億800万人から34年間で約4倍に増えたとの報告書を発表した。

高所得国だけでなく、低中所得国でも増加傾向にあり、経済成長に伴う過体重や肥満の増加が背景にあると分析。適切な食事や運動の奨励など肥満防止に向けた一層の対策を各国に促した。

報告書によると、18歳以上の人口全体に対する糖尿病人口の割合は80年の4・7%から2014年の8・5%に増加した。

47NEWS 2016年4月6日

<http://this.kiji.is/90422257739071490?c=39546741839462401>

Point of View

◎全世界の糖尿病人口が34年間で約4倍に増えたとのことです。全世界での経済成長により、生活が豊かになったためということですが、食生活の改善や運動なども重要ですが、歯周病と糖尿病の関連性も明らかとなってきており、今後、歯科医師が人類の健康増進に貢献していく必要があります。

▼環境汚染で1260万人死亡 2012年、WHO報告書

世界保健機関（WHO）は15日、2012年に大気や水、土壌の汚染など「不健康な環境」に起因する死者が世界で推定約1260万人に上ったとの報告書を発表した。全死者の23%に当たり、WHOは各国政府に対策を急ぐよう呼び掛けた。報告書は「環境による健康へのリスク要因」として、大気汚染、不衛生な水、紫外線、化学物質汚染、地球温暖化、農薬の使用などを列挙した。

死因として最も多いのは脳卒中の250万人で、虚血性心疾患（230万人）、不慮のけが（170万人）、がん（170万人）、慢性呼吸器疾患（140万人）などが続いた。地域別では、微小粒子状物質「PM2.5」の汚染が深刻な中国など西太平洋地域や東南アジア地域の低中所得国で環境による健康への影響が最も強くみられた。

産経ニュース 2016年3月15日

<http://www.sankei.com/life/news/160315/lif1603150011-n1.html>

Point of View

◎環境汚染に起因する死者が、1,260万人に上ったというWHOからの報告がなされました。これが直接的な死因となっているケースは少ないみたいですが、中国のPM2.5の環境汚染に伴い、日本においても、中国から拡散されたPM2.5が、日本人の健康被害を起こしたということが報道されました。環境汚染は、工業発展 etc.に伴い、どうしても起こってしまう問題になりますが、汚染を未然に防ぐ努力が必要かと思えます。

FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」

FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート
お口の健康ひろば デンタルパーク 毎週月曜日午前11時から



4月26日収録 5月2日放送分

チャゲ&飛鳥「YAH YAH YAH」

広島市歯科医師会 前田羊一

「噛む噛むダイエット」

雑誌やテレビで紹介されたダイエット法を試してみたけど、効果なしというあなた。食事制限もなく、特別なグッズやサプリメントなどにお金をかける必要のない究極のダイエット法、「フレッチャイズム」を実践してみませんか？

4月26日収録 5月9日放送分

AKB48「365日の紙飛行機」

広島市歯科医師会 平井由美

「8020にむかって乳歯の時期からスタート」

乳歯は生えかわるから放っておいても大丈夫・・・というわけではありません。乳歯は「食べ物を噛む」という役割はもちろん、「永久歯が正しく生えるための案内役」としても重要です。乳歯の時期はまさに、生涯にわたって健康なお口を保つための重要なスタートラインです。

4月26日収録 5月16日放送分

くるり「ワールズエンド・スーパーノヴァ」

広島市歯科医師会 中川誠

「神経をとった歯はどうなるの」

大きなむし歯ができてしまい痛みが出てきたため、神経をとることになった歯。歯の神経の役割と、その後の治療などについてお話しします。

4月26日収録 5月23日放送分

DREAMS COME TRUE「あなたにサラダ」

広島市歯科医師会 森川英彦

「食育について」

最近の子供たちは噛み応えのある食べ物を嫌い、冷凍・加工食品やファーストフードに代表されるやわらかい食べ物を好むようになってきており、このため、あごやその周りの骨や筋肉の発達が不十分なため、噛まない、噛めない、飲み込めない子供たちが増えています。そこで今回は、噛むための食事についてお話しします。

4月26日収録 5月30日放送分
ドリーミング「アンパンマンのマーチ」

広島市歯科医師会 能美和基

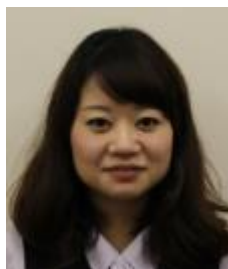
「第32回おくちの健康展について」

6月5日(日)にそごう広島店本館屋上で「おくちの健康展」が開催されます。お口の健康

に関するたくさんのブースやアンパンマンショー、プレゼント抽選会など子どもから大人まで楽しんでいただける盛りだくさんのイベントです。もちろん入場は無料ですので、是非ご来場ください。

職員挨拶

退任挨拶



横田 香

この度、一身上の都合により5月31日をもって広島市歯科医師会を退職することになりました。

在職中は、役員の方を始め多くの先生方、同僚の皆様にお世話になりましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。

これからは歯科医師会での経験を活かして、日々生活していこうと思います。広島市歯科医師会の益々のご発展、先生方のご活躍をお祈りしております。ありがとうございました。

4月定例理事会報告

「部外報告」

- 3月24日 市役所保健医療課次年度予算説明
- 3月24日 休日診療出務者説明会
- 3月27日 (県)診療報酬改定説明会
- 3月28日 広島市医療安全推進協議会
- 3月28日 広島市歯科衛生連絡協議会
- 3月29日 広島市連合地区地域保健対策協議会
広島市在宅医療・介護連携推進委員会
- 3月30日 広島県歯科衛生連絡協議会
第2回理事会
- 3月30日 広島市連合地区地域保健対策協議会理事会
- 3月31日 8020推進事業歯科保健活動
事業委員会
- 4月2日 広島大学第2口腔外科交友会
- 4月6日 IGL医療福祉専門学校入学式
- 4月8日 広島デンタルアカデミー専門学校
入学式
- 4月15日 第1回四者協議会
- 4月16日 中四国地区会長・日歯代議員
合同会議
- 4月22日 新会館プロット図打合わせ
- 3月31日 社保診療報酬再審査
- 4月21-25日 社保診療報酬審査

(連盟関係)

- 3月26日 連盟理事会、評議員会、石井みどり・

林正夫・ゆざき英彦後援会総会

- 4月26日 「ゆざき知事を囲む県政懇談勉強会
2016年4月度」

「総務関係」

- 3月30日 H27年度広島県地域医療介護総合
確保事業第4回講習会
- 4月2日 市民公開講座『安心してください
サポート受けられますよ』
～もしも、あなたやあなたの家族に
介護が必要になったら～
- 4月6日 南区支部花見会
- 4月14日 学校歯科医協議会
- 4月17日 三師会対抗ゴルフコンペ
- 4月18日 おくちの健康展第1回代表者会議
- 4月20日 第1回支部長・副支部長会
- 4月21日 広島大学病院歯科臨床研修医
セミナー
- 4月25日 三役会
- 4月26日 職員歓送迎会
- 4月27日 定例理事会

(慶弔関係)

- 3月26日 中区支部 陶山ケイ子先生
ご母堂様ご逝去
- 4月15日 西区支部 進藤典久先生
ご母堂様ご逝去

(入会退会関係)

(1) 総務部 (本山理事)

- 3月24日 医療の安全に関する研修会及び
休日歯科救急医療研修会
" 県警本部長と協議
3月27日 (県) 診療報酬改定説明会
3月28日 平成27年度第二回広島市医療
安全推進協議会
3月29日 31日 警察歯科総務部小委員会
(マイナンバーについて)
3月30日 県総務部理事と協議
(新規入会について)
4月 2日 市民公開講座『安心して下さい
サポート受けられますよ』
~もしも、あなたやあなたの家族に
介護が必要になったら~
4月 4日 小委員会
4月 7日 広島大学病院歯科臨床研修医
セミナー広大打ち合わせ
4月 8日 委員会
4月13日 海上保安庁検案
4月14日 県警本部長、県警本部、
海上保安庁挨拶
" 警察歯科小委員会
県警本部長と協議
4月20日 小委員会
4月21日 広島大学病院歯科臨床研修医
セミナー
4月22日 県警本部長と協議
4月26日 県警と幹事会打合わせ
4月27日 定例理事会
" 警察歯科幹事会

(2) 学術部 (蜂須賀理事)

- 4月 8日 学術部委員会

(3) 保険・医療対策部 (瓜生理事)

- 3月24日 休日診療出務者説明会
3月27日 (県) 診療報酬改定説明会
3月29日 休日診療レセプト点検
4月 2日 市民公開講座
4月 5日 保険改正点の解説 (理事会)
4月14日 (県) 常任委員会
4月16日 国保連合会歯科再審査部会
4月17日 三師会対抗ゴルフコンペ
4月17-21日 国保連合会歯科審査部会
4月20日 定例委員会

- 4月20日 熊本地震被災者の診療について
問い合わせ回答
4月22日 保険なんでも相談

(4) 地域歯科保健部

- 3月24日 休日診療出務者説明会
3月30日 平成27年度広島県地域医療介護
総合確保事業 第4回講演会
4月 2日 市民公開講座
4月13日 (県) 地域保健部、学校保健部、
介護・福祉医療部、口腔保健
センター部 常任委員会
4月14日 学校歯科医協議会
4月21日 定例委員会
4月25日 平成28年度広島県歯科衛生
連絡協議会事業 歯科医師の
認知症対応力向上事業第1回委員会

- 4月26日 職員歓送迎会

<学校保健> (有馬理事)

- 3月24日 新任学校歯科医研修会
" 新任嘱託学校歯科医研修会
3月28日 広島市歯科衛生連絡協議会理事・
監事合同会議
3月31日 「特別支援学校における
TEACCHプログラムを応用した
オーダーメイドの口腔清掃法指導
システムの構築」事業委員会
4月15日 第1回四者協議会
4月18日 (南区地対協) 南区在宅医療・
介護連携推進委員会

<地域連携> (小松理事)

- 3月24日 中区第4合議体介護認定審査会
3月26日 連盟理事会、評議員会、石井みどり・
林正夫・ゆざき英彦後援会総会
3月28日 (県) 平成28年度第1回県民公開講座
第3回事前打合せ会
3月29日 休日診療レセプト点検
" (連合地対協) 平成27年度第3回
広島市在宅医療・介護連携推進委員会
3月31日 中区第4合議体介護認定審査会
4月 6日 メディア中国と市民公開講座に
ついて第6回打合わせ
4月 9日 (県) 平成28年度第1回県民公開講座
前日準備
4月10日 (県) 平成28年度第1回県民公開講座
『健康長寿はお口の健康から!』
「三次市民ホール きりり」
4月18日 第2回吉島多職種連携会議
小委員会「田丸整形外科2階」

- 4月21日 広島大学病院歯科臨床研修医
セミナー
- 4月26日 (県) 歯科保健医療サービス提供
困難者に対する歯科保健環境整備
事業(仮称)
第1回編集実務者会議

<地域保健> (能美理事)

- 3月28日 広島市歯科衛生連絡協議会
理事・監事合同会議
- 〃 (県) 第3回簡易唾液検査による
歯周病検査の普及促進会議
- 4月11日 広テレイベントとの協議
- 4月12日 東区第1合議体介護認定審査会
- 4月14日 三師会対抗ゴルフコンペ
- 4月18日 第32回「おくちの健康展」
第1回代表者会議
- 4月19日 東区第1合議体介護認定審査会
- 4月21日 広テレイベントとの協議
- 4月26日 東区第1合議体介護認定審査会
〃 FMちゅーピー収録
福祉対策協議会実績状況

(5) 広報部 (橋岡理事)

- 4月2日 市民公開講座
- 4月4日 委員会
- 4月8日 太田川編集委員会
- 4月11日 委員会 (情報発信部門)
- 4月18日 お口の健康展第1回代表者会議
〃 委員会 (情報調査部門)
- 4月25日 FMちゅーピー (堀部様) と協議
- 4月26日 FMちゅーピー収録
市歯会 (能美和基氏、前田羊一氏、
平井由美氏、中川誠氏、森川英彦氏)
- FMちゅーピー (新聞掲載)
- 4月4日 「デンタルパーク Q&A」
橋岡優 (市歯会)
- 4月11日 「むし歯にならないためには」
波田佳範 (市歯会)
- 4月18日 「噛み癖に注意」
加藤正昭 (市歯会)
- 4月25日 「噛む8大効用について」
三分一福展 (市歯会)

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

- 4月15日 WebMagic に熊本へのお見舞掲載
ホームページアクセス数
一般サイト 訪問者 670 (累計 21,317)
ページビュー 2,687 (累計 106,135)
会員サイト 訪問者 241 (累計 15,039)

ページビュー 1,339 (累計 163,267)
広報部 … Talking Heads <最新情報>
掲載件数 83 件 (3/21~4/20)

(7) 特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 会館移転準備

4月27日 各部進捗状況報告

(10) 創立 100 周年記念事業について

(11) 各部事業計画について

(12) 歯科医療安全相談

- 4月5日 相談 治療方針を説明の上
治療した患者からの
クレーム (本会会員)
- 4月8日 相談 口腔内乾燥について
(60 歳代男性)
- 4月20日 苦情 何の説明もなく
歯を削られた (70 歳代男性)

「協議事項」

- (1) 会費について (2 名)
終身会員資格取得による会費額変更
について承認
- (2) 入会について
南区支部入会希望者について現状報告
- (3) 保育園園医の表彰について
内容について検討・協議
- (4) 保健調査について
調査内容について報告・協議
- (5) 「よい歯の集い」について
「よい歯の集い」の講師について協議
- (6) 広島市学校保健会歯科保健専門委員会
論点整理案について
広島市学校保健会歯科保健専門委員
会について報告・協議
- (7) 第 32 回「おくちの健康展」について
内容及び当日の運営について協議
- (8) FMちゅーピー Q&A について
リスナーからの質問について協議
- (9) 平成 28 年熊本地震について
支援などの実施要項について協議
- (10) 会費未納者への対応について
今後の対応について協議
- (11) 各部事業等について
内容について協議・確認

- (12) 臨時理事会について
 日程・概要等について協議
- (13) 政治を語る会について
 内容及び日程について協議
- (14) 定時総会について
 日程について協議

(15) その他
 特になし

「その他」
 特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事橋岡優までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 橋岡優 E-Mail: s.d.c@helen.ocn.ne.jp